

県沿岸北部に地震発生

町内の主な被害状況

【人的被害】 1人が避難しようとして軽傷を負う。地震のショックで2人が体調を崩す。

【家屋被害】 民間施設で漏水2件、民家のブロック塀が倒壊（八幡町1件）、石垣の一部が崩落（船越、大浦各1件）など

【公共施設被害】 町道や林道14路線で落石やひび割れ、施設17カ所で壁のはがれ落ちや設備の破損など



①四十八坂展望所では手すりの土台部分に5センチの段差とすき間ができて、手すり自体も数カ所破損しました②林道川目線では、道路に巨大な岩が崩れてきました③八幡町ではブロック塀が10センチにわたって倒れました

本町にも爪あとと残す



7月24日午前0時26分ごろ、岩手県沿岸北部を震源とする地震が発生しました。洋野町で最大震度6強、本町では震度5強を記録。揺れは北海道から近畿地方までの広い範囲で観測されました。震源地は岩手県沿岸北部で、震源の深さは約10.8キロ。マグニチュード（M）は6.8と推定されます。町では、地震発生直後に町災害対策本部を設置し、町内各地区の被害状況把握と対応に当たりました。

震度5強の大きな揺れを観測した本町。幸い津波は発生しませんでした。幸い津波は発生しませんでした。幸い津波は発生しませんでした。

人的被害では、2人が地震のショックで体調を崩し病院に運ばれたほか、1人が避難の際に軽傷を負いました。

家屋関係では、八幡町でブロック塀が10センチにわたって倒壊。船越地区では石垣の一部が崩落するなどの被害が出ました。

公共施設関係では、四十八坂展望台で手すりの土台部分に約5センチの段差ができるなど17カ所で破損、道路のひび割れや落石などが14カ所、給水施設の漏水が2カ所で発生するなど、町内全域で被害を受けました。

今回の地震に伴う町の被害総額（7月31日現在）は、およそ550万円となりました。